

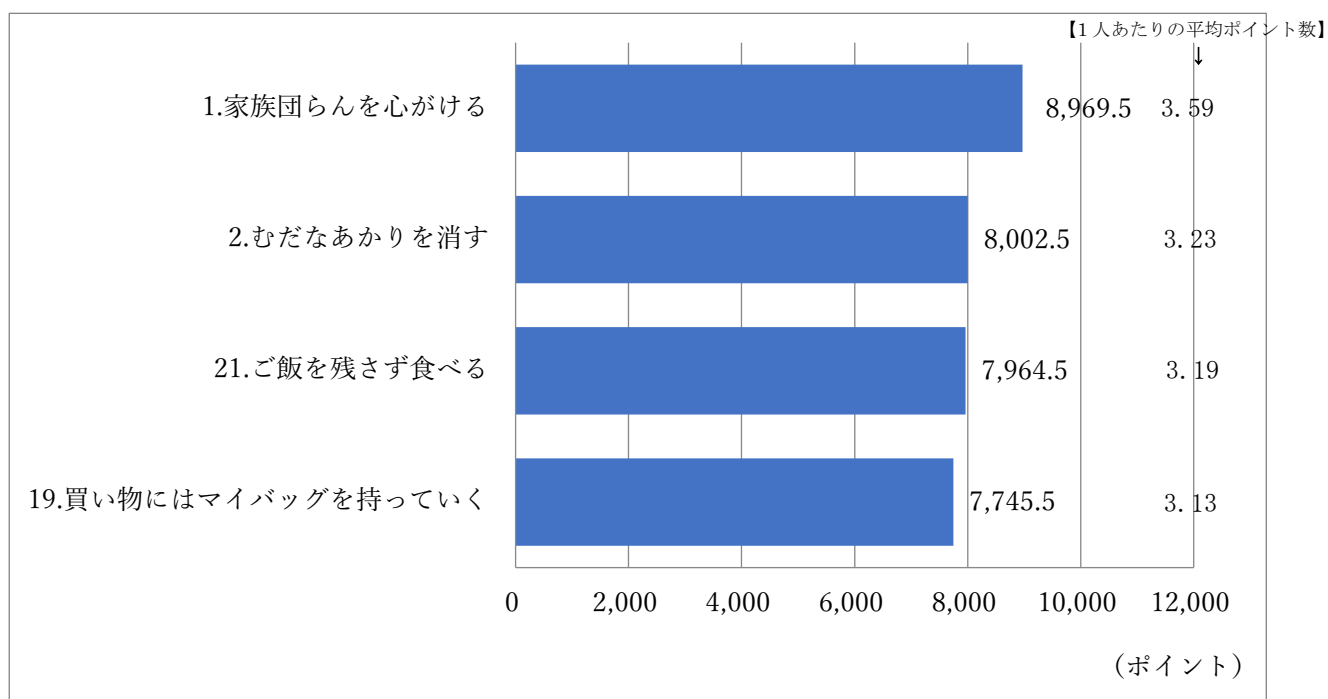
Ⅲ. 事業の結果

1. 参加校及び参加児童数

- ◇ 参加校 … 68校
- ◇ 参加児童数 … 2,854人
- ◇ とりくみノート提出児童数 … 2,524人 (88.4%)

2. 「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング (ポイント制)

がんばり度ランキングは、「かならずチャレンジ」の4項目の取組みを、1週間当たり「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント「できなかった」を0ポイントとして、4週間分の取組みをがんばり度として表したものであり、その結果は次のとおりであった。



※ グラフは、とりくみノート提出児童分 (2,524人) を集計したものである。

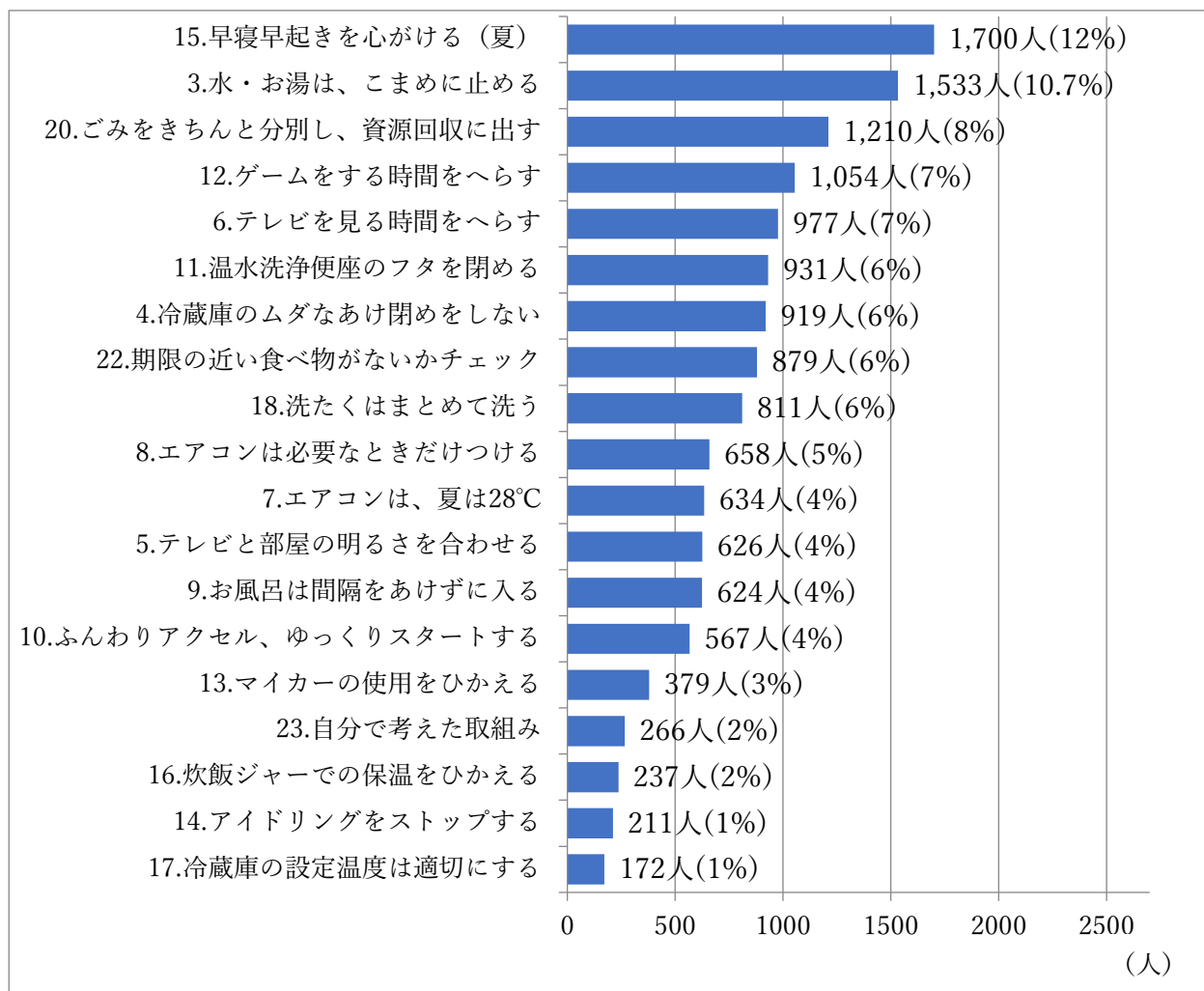
とりくみノート提出児童2,524人が全員「よくできた」だった場合に得られる最大ポイントは10,096ポイントとなる。

今年度は必須取組みである「かならずチャレンジ」を昨年同様4項目とした。

全体を通して、1項目に対する1人当たりのがんばりポイントが約3ポイントであったことから(1ポイント×4週=最大4ポイント)、各家庭においてしっかりとチャレンジ10に取り組んでいたことが伺える。

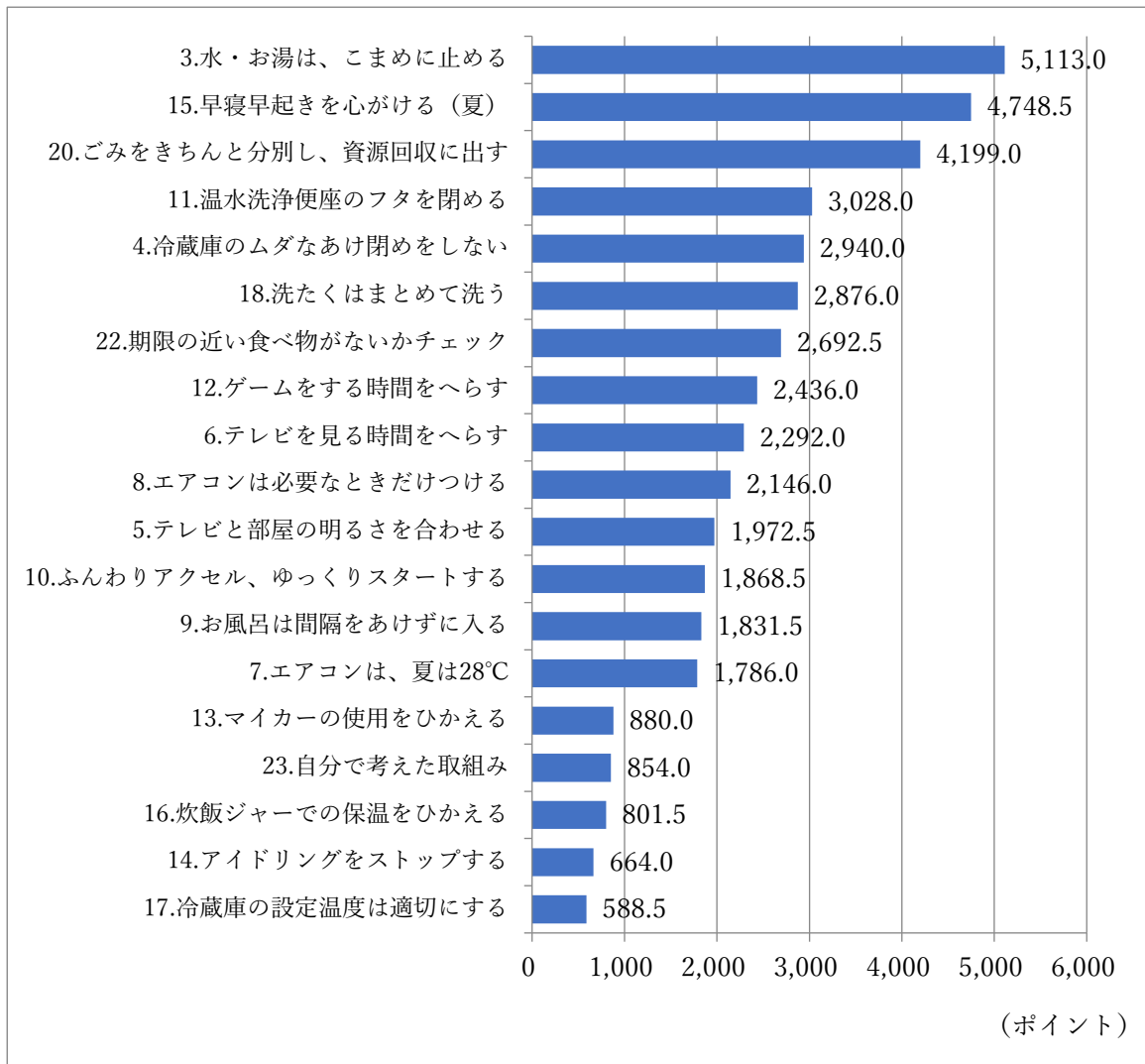
3. 「えらんでチャレンジ」がんばり度ランキング（ポイント制）

「えらんでチャレンジ」は、「かならずチャレンジ」の4項目のほかに児童が自ら6項目を選択するものである。各取組みの人数は次のとおりであった。



「早寝早起きを心がける」が最も多くなっている。

児童が選択した取組みを「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング（ポイント制）と同様に集計し、ランキング化したところ、その結果は次のとおりであった。



ポイントランキングでは「水・お湯は、こまめに止める」がトップで、次は「早寝早起きを心がける」であった。

「早寝早起きを心がける」を選んだ児童は最も多かったが、ポイントは総ポイント（1,700人×4ポイント＝6,800ポイント）の7割ほどにとどまっている（トップの「水・お湯は、こまめに止める」のポイントは8割強（1,533人×4ポイント＝6,132ポイント））。

「早寝早起きを心がける」は夜間の余分な電気を消すことで温暖化防止につながるとともに、夏休みの生活習慣にも良い影響を与えることから、後押ししていく必要がある。

なお、各取組み項目に対する1人当たりのがんばりポイントは、以下のとおりであった（1ポイント×4週＝最大4ポイント）。

取組例 の番号	実践した取組み	がんばり ポイント	取組みを選択 した人数	1人当たりの がんばり ポイント	
		(4週間分) A		B	(4週間分) X=A/B
かならず	1	家族団らんを心がける	7,964.5	* 2,524	3.16
	2	ムダなあかりを消す	8,002.5	* 2,524	3.17
	19	買い物にはマイバッグを持っていく	8,969.5	* 2,524	3.55
	21	ご飯を残さず食べる	7,745.5	* 2,524	3.07
なるべく	3	水・お湯は、こまめに止める	5,113.0	1,533	3.34
	4	冷蔵庫のムダなあけ閉めをしない	2,940.0	919	3.20
	5	テレビと部屋の明るさを合わせる	1,972.5	626	3.15
	6	テレビを見る時間をへらす	2,292.0	977	2.35
	7	エアコンは、夏は28℃	1,786.0	634	2.82
	8	エアコンは必要なときだけつける	2,146.0	658	3.26
	9	お風呂は間隔をあけずに入る	1,831.5	624	2.94
	10	ふんわりアクセル、ゆっくりスタートする	1,868.5	567	3.30
	11	温水洗浄便座のフタを閉める	3,028.0	931	3.25
	12	ゲームをする時間をへらす	2,436.0	1,054	2.31
	13	マイカーの使用をひかえる	880.0	379	2.32
	14	アイドリングをストップする	664.0	211	3.15
	15	早寝早起きを心がける（夏）	4,748.5	1,700	2.79
	16	炊飯ジャーでの保温をひかえる	801.5	237	3.38
	17	冷蔵庫の設定温度は適切にする	588.5	172	3.42
	18	洗たくはまとめて洗う	2,876.0	811	3.55
	20	ごみをきちんと分別し、資源回収に出す	4,199.0	1,210	3.47
	22	期限の近い食べ物がないかチェック	2,692.5	879	3.06
	23	自分で考えた取組み	854.0	266	3.21
			平均	3.10	

* とりくみノート提出児童数（2,524人）

1人当たりのがんばりポイントは、4分の3の取組みで3ポイント以上であり、平均が3.10であることから、各家庭においてしっかりチャレンジ10に取り組んでいたことが伺える。

4. 取組み効果の推計

取組み結果から取組み期間において削減できた二酸化炭素排出量の推計及び節約額の推計は次のとおりであった。

- ◇ 二酸化炭素(CO₂)排出量 : 約78トンの削減
 ※25mプール78個分の体積に相当

$$\left(\begin{array}{l} \text{CO}_2 \text{ 1トンの体積: } 509 \text{ m}^3 \\ \text{25mプール} \quad \quad \quad \uparrow \\ \text{25m} \times \text{12.5m} \times \text{1.5m} = 468 \text{ m}^3 \end{array} \right)$$
- ◇ 節約額 : 約817万円の節約

効果の推計結果

	がんばり ポイント 順位	取組例 の番号	実践した取組み	がんばり ポイント	1週間の削減効果			効果の推計	
				(4週間分)	CO2 (kg)	金額 (円)	CO2 (kg)	金額 (円)	
				A	B	C	X=A×B	Y=A×C	
かならず	1	19	買い物にはマイバッグを持っていく	8,969.5	0.427	35	3,830	313,933	
	2	2	むだなあかりを消す	8,002.5	0.182	14	1,456	112,035	
	3	1	家族団らんを心がける	7,964.5	4.564	196	36,350	1,561,042	
	4	21	ご飯を残さず食べる	7,745.5	0.259	294	2,006	2,277,177	
えらんで	1	3	水・お湯は、こまめに止める	5,113.0	0.553	63	2,827	322,119	
	2	15	早寝早起きを心がける(夏)	4,748.5	1.470	91	6,980	432,114	
	3	20	ごみをきちんと分別し、資源回収に出す	4,199.0	0.812	0	3,410	*1 0	
	4	11	温水洗浄便座のフタを閉める	3,028.0	0.329	21	996	63,588	
	5	4	冷蔵庫のムダなあけ閉めをしない	2,940.0	0.098	7	288	20,580	
	6	18	洗たくはまとめて洗う	2,876.0	0.056	84	161	241,584	
	7	22	期限の近い食べ物がなにかチェック	2,692.5	0.560	630	1,508	1,696,275	
	8	12	ゲームをする時間をへらす	2,436.0	0.266	14	648	34,104	
	9	6	テレビを見る時間をへらす	2,292.0	0.154	7	353	16,044	
	10	8	エアコンは必要なときだけつける	2,146.0	0.574	35	1,232	75,110	
	11	5	テレビと部屋の明るさを合わせる	1,972.5	0.252	14	497	27,615	
	12	10	ふんわりアクセル、ゆっくりスタートする	1,868.5	3.724	231	6,958	431,624	
	13	9	お風呂は間隔をあけずに入る	1,831.5	1.645	119	3,013	217,949	
	14	7	エアコンは、夏は28℃	1,786.0	0.924	56	1,650	100,016	
	15	13	マイカーの使用をひかえる	880.0	2.961	189	2,606	166,320	
	16	23	自分で考えた取組み	854.0	0.000	0	*1 0	*1 0	
	17	16	炊飯ジャーでの保温をひかえる	801.5	0.105	7	84	5,611	
	18	14	アイドリングをストップする	664.0	0.770	49	511	32,536	
	19	17	冷蔵庫の設定温度は適切にする	588.5	0.574	35	338	20,598	
合計							77,703	8,167,971	
児童1人当たり *2							31	3,236	

※X、Yは小数点以下四捨五入

*1 削減効果の数値データがないため未計算

*2 全ての合計÷とりくみノート提出児童数(2,524人)

※削減効果の数値：環境省「身近な温暖化対策」、(財)省エネルギーセンター「家庭の省エネ百科」等

5. 児童が考えた取組み

児童が考えた「独自の取組み」の主なものは次のとおりであった。

- ・ティッシュやトイレットペーパーなど、紙のむだ使いをしない。
- ・食器をなるべく洗う量を減らす。
- ・なるべく必要のないものは買わない。
- ・使わない電化製品のコンセントプラグをぬく。
- ・植物を育てる。
- ・おふろの残り湯を洗濯の時に使う。
- ・水筒を持ち歩く。
- ・冷蔵庫は物をつめこみすぎない。
- ・スーパーで前から商品を取る。
- ・朝はカーテンを開け、なるべくあかりをつけない。
- ・ドライヤーの時間をへらすためタオルでよく髪をふく。
- ・ノートなど使えるものは最後まで使う。
- ・宅配便の荷物を1回で受け取る。
- ・宿題は明るい時間にする。

6. 工夫したこと

家庭での取組み実践中には様々な工夫が行われており、その主なものは次のとおりであった。

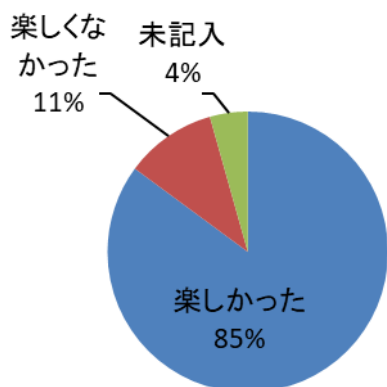
- ・ゲームをする時間を減らして、母と一緒に話したり、家の片付けをしたりしました。
- ・エアコンをつける時間を設定した。
- ・できるだけごみを減らした。
- ・トイレに行く人に「必ずふたをしめてね」と声をかけた。
- ・使用済みのペットボトルを洗うのを手伝った。
- ・買い物に行くときは「マイバッグ持った？」と話すようにした。
- ・おふろでのシャワーや歯みがきをしているとき、水の出しっぱなしをしないようにした。
- ・むだなものを買わないために冷蔵庫の中をこまめに確認する。
- ・ご飯を残さず食べることを心がけた。
- ・「レジ袋はいりません」と、レジの人に伝えた。
- ・ペットボトルはリサイクルBOXに入れる。
- ・家電のコンセントプラグを使わないときは外すように気を付けた。
- ・期限が近い食べ物を使ってご飯を作った。
- ・ゲームをする時間を減らして本を読むようにした。
- ・冷たいお茶を保冷ポットに入れてダイニングテーブルの上に置いておいた。
- ・家族みんなとがんばってチャレンジ10をふりかえりました。
- ・トイレに便座のフタを閉めるようにポスターを書いた。
- ・あかりを消してカーテンを開けた。
- ・夏はあつくて、かわきやすいので、ドライヤーを使う前にタオルでしっかりふいてから使う。
- ・次の人に「どうぞ」と声をかけあい、間隔をあげずにお風呂に入った。
- ・夜ご飯など家族みんなでテレビを消して今日のことなどを話す。

7. 事後アンケート結果

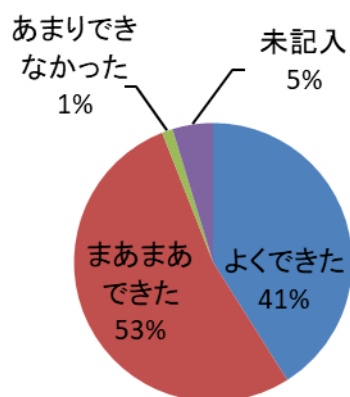
参加した児童、家族及び学校に対して、地球温暖化問題に対する意識や取組みについてアンケートを行ったところ、結果は次のとおりであった。

(1) 児童（回答数：2,524人）

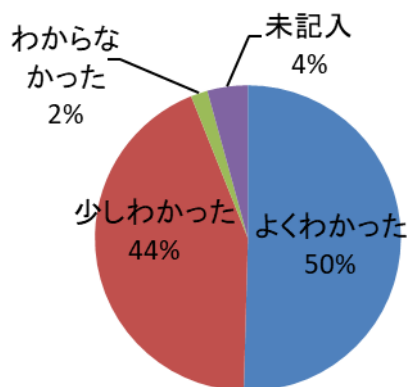
① とやま環境チャレンジ10は楽しかったですか？



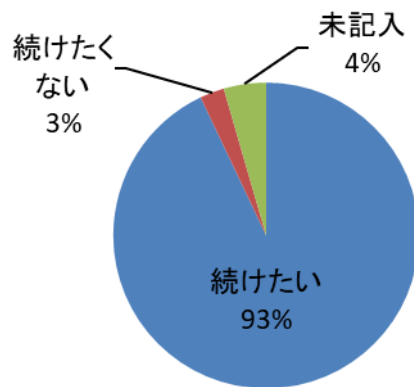
② 選んだ取組みは、4週間よくできましたか？



③ 地球温暖化はどのような問題わかりましたか？



④ これからも地球温暖化をとめるための取組みを続けていきますか？

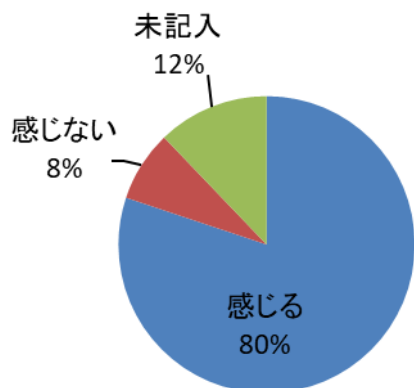


⑤ 感想やこれからがんばりたいこと、もっとしりたいことなどを書いてください。

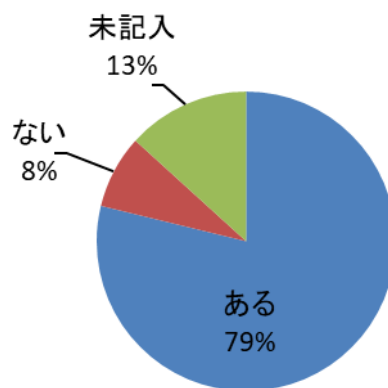
- ・地球温暖化を止める活動をして、どういふことをすれば地球温暖化を止められるかがわかって良かったと思いました。
- ・テレビを見る時間を減らしたり、むだな電気を使わないように取り組みたいです。
- ・「できなかった」シールがつかなくてうれしかったです！
- ・地球温暖化の原因について、もっと詳しく知りたい。
- ・これからも、買い物に行くときはマイバッグを持っていきたい。
- ・電気のむだ使いをしていることに気が付いた。
- ・家族の会話が増えた。楽しくできて良かったです。
- ・自分で出来ることを続けていきたいです。
- ・電気をなるべく使わないようにする。
- ・これからも水を大切にしていこうと思います。
- ・冷蔵庫を開け閉めばかりしていたので、これからは意識してがんばりたいです。
- ・これからはがんばりたいことは、「よくできた」シールを多くして、「できなかった」シールを少なくしたいです。
- ・動物や食べ物のために、地球のためにも、10の取組みを続ける。
- ・嫌いなものを残さず食べたいと思った。
- ・一人一人が力を合わせて頑張らないといけないと思いました。
- ・8月は毎日暑くて、将来が心配になった。
- ・食品ロスをもっとなくしたいです。
- ・スーパーにエコバッグを持っていくのを心がけたい。
- ・「地球温暖化」という言葉を知っていたけど、こんなに大変なことが起きていることを知らなかった。
- ・まだできなかったところもあったので、夏休みが終わっても、環境チャレンジ10をやろうと思いました。
- ・地球温暖化を止める方法を自分で見つけたいなと思いました。
- ・温暖化を止めることの大切さがわかったのでこれからも続けたいです。
- ・国や企業がどのような取組みをしているか知りたい。
- ・これからもペットボトルや缶の分別をがんばりたいです。
- ・学校でも給食を残さないことをがんばりたいです。
- ・コンポストで生ごみを自然に返せるのはとても良いことだなと思ったので、続けたいし調べてみたいです。
- ・早寝早起きやゲームの時間を減らすなど、これからも頑張りたいです。
- ・食べられる分だけ買ったり、皿に乗せたりして、なるべく食べ物を残さないようにしたいです。

(2) 家族 (回答数 : 2,524 人)

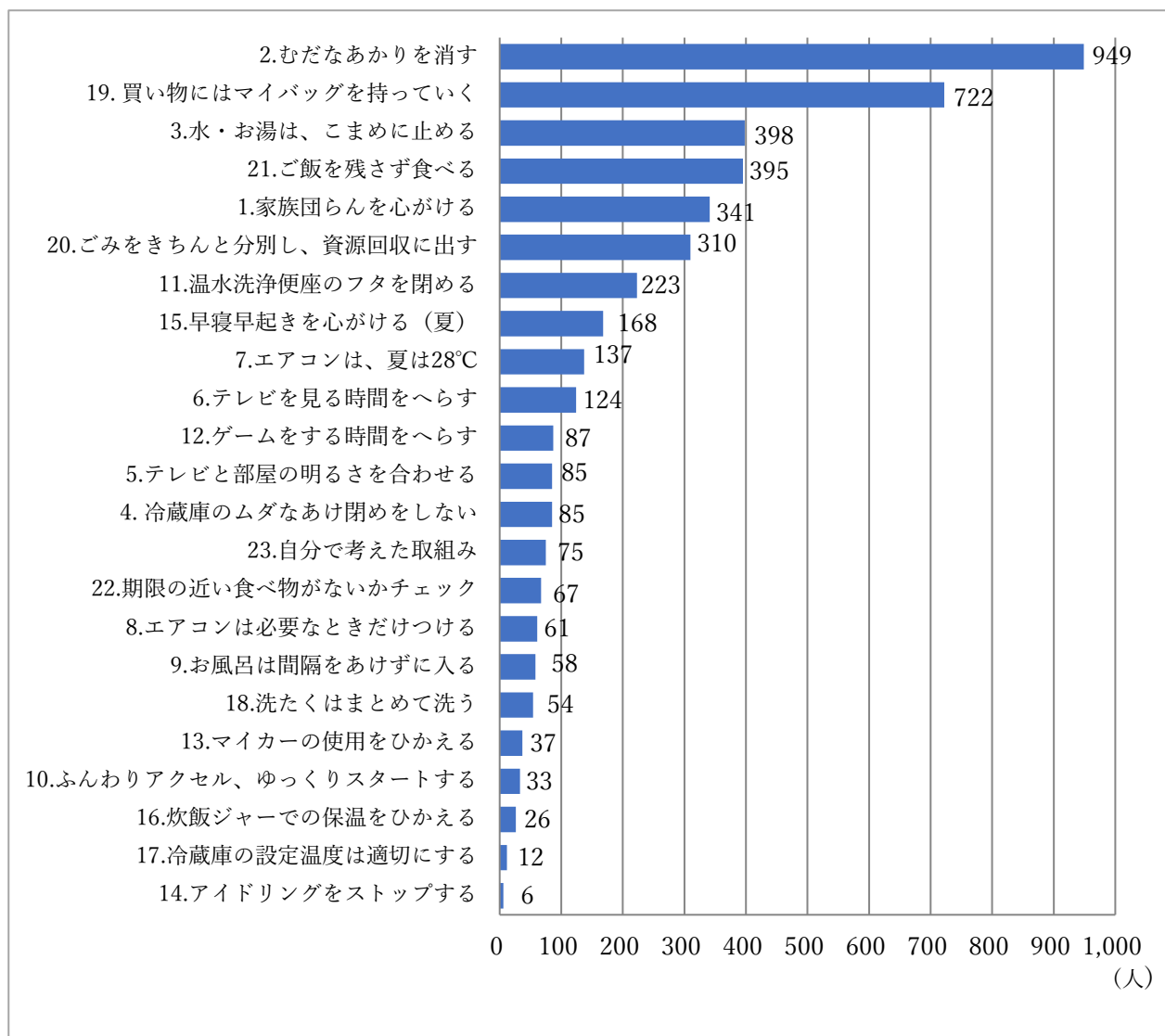
① 地球温暖化に対する意識は高まった
と思いますか？



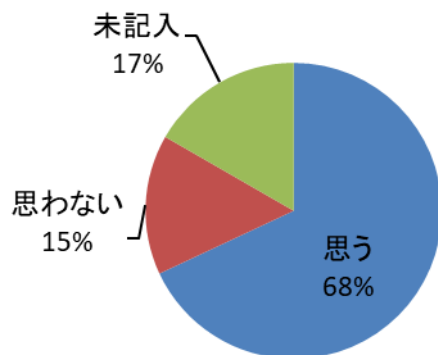
② 習慣化した取組みがありますか？



③ 習慣化した取組みのある場合、その取組みはどれですか？



④ チャレンジ10の取組みにより、家計の節約になったと思いますか？



⑤ 感想や意見をご記入ください。

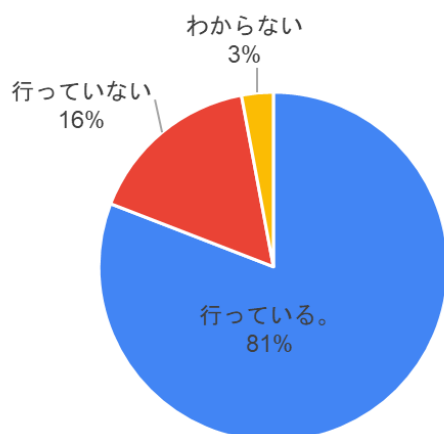
- ・早寝早起き、ご飯を残さず食べることも環境にいいことだよと声かけした。
- ・少しずつでも取組みを習慣化できるように、これからもお互いに声をかけ続けて実行していきたいと思います。
- ・地球温暖化防止の取組みは、家計の節約にもつながることがよくわかりました。
- ・紙に書いて部屋に貼って、みんなができるように取り組みました。
- ・小さい時から、このように自ら意識をもって、環境問題に取り組むことは大切だと思った。
- ・一人一人、小さなことでも少しずつ取り組むことが大事だと思いました。これからも続けていきたいです。
- ・すぐに取り組みそうなことから始めました。子供達にも日常で出来ることがあることが少しは理解してもらえたのかなと思います。
- ・取組みの中には地球温暖化防止につながると知らなかった内容があり、参考になりました。
- ・以前から親は分別、節電、マイバック等取組みをしていましたが、チャレンジ10により、子供が自分からあかりを消したり、率先して行動をするようになったと思う。
- ・夜はテレビを消して子どもと話をしたり、遊んだりして過ごした。
- ・「よくできた」シールが多く貼られていたので、本人なりに意識して頑張っていたのだと思います。
- ・自由研究のテーマをリサイクルにして、家族で意識を変えるようにしました。ごみの量が半分になりました。
- ・子どもに「エコバック持った？」と聞かれるようになったので、環境に対する意識が芽生えてきたようで、成長を感じました。本人の学びにつながる良い取組みだと思います。
- ・夏期にいらぬ電気ポットをOFFにするなど、必要のないものの節電を心がけることができた。
- ・歯みがき・手洗いの時の水の出っぱなしをやめてくれて良かったです。
- ・とりくみノートを壁に貼って、見える化したこと。
- ・子どもがリーダーシップをとって、環境問題に取り組み、自分たちのできることは何かと考えて行動する姿にとっても感心しました。
- ・電気代(単価)が上がったため、トータルでは光熱費が上がったが、使用量は減ったので、続けたいです。

- ・子どものおかげで、「たしかに」、「はっ」と気づかされることが多く大人にもいい発見や気づきになりました。
- ・1つのチャレンジにつき、〇円の節約になる、という風に記載されていたので、取り組みがありました。
- ・冷蔵庫をチェックするようになり、むだな食材を買うことが減った。
- ・すぐ食べるものは期限近くで安くなっている物を買うようにした。
- ・なんでもやりすぎは良くないので、無理のない程度に取り組みました。

(3) 小学校 (回答数 : 68 校)

① 地球温暖化や環境問題に関する授業について

ア. 貴校では小学1～4年生の間で、とやま環境チャレンジ10以外で地球温暖化や環境問題に関する授業を行っていますか。



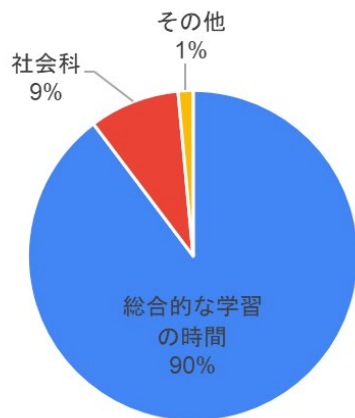
イ. アで「行っている」と答えた学校にお聞きします。教科名及び地球温暖化や環境問題について児童が学んでいる内容を教えてください。

学年	教科	内容
1、2年	生活科	・ 地域のごみ問題
3年	社会科	・ 食品ロス問題 ・ 「店ではたらく人」店頭のリサイクルBOX等
	総合的な学習の時間	・ アユの卵を育て、放流する ・ 地域の自然
4年	社会科	・ 水の汚染、発電等による温室効果ガスの発生 ・ 上下水道について ・ 健康なくらしとまちづくり環境について考えよう ・ 「ごみの処理と利用」分別、エコスラグ、3R等
	総合的な学習の時間	・ 地域の水環境 ・ 温室効果ガスについて、気候変動について、食品ロス問題、海洋ごみ問題、絶滅する動物、住

学年	教科	内容
		<p>み続けられるまちづくり、ゴミ問題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わたしたちのまちをよくしよう ・ 川掃除、川の生き物調査 ・ ビオトープの水や生き物、地域の川について学ぶ ・ SDG s について ・ 森林伐採 ・ 発電所やダムの見学 ・ 地域のごみ調査、海洋ごみ問題 ・ 環境について考えよう～地球にやさしい暮らし～ ・ 地域のために環境チャレンジ～みんなと一緒に住み良い環境を作ろう～、栄養教諭による給食指導、環境問題についての調べ学習、SDG s について ・ 地域の環境調査、川、海岸の清掃活動、川での魚釣り体験による生き物の生態やゴミ問題について、食品ロス問題
5年	社会科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品ロス ・ わたしたちの生活と環境 ・ 公害について ・ わたしたちの暮らしと食糧生産
	総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ SDG s について
6年	社会科	<ul style="list-style-type: none"> ・ SDG s や環境問題について
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物と地球環境 ・ 水の循環等
学年なし	理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの処理と利用
	総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビオトープに住む生き物について ・ 地域のグリーン&クリーン作戦 ・ 地球温暖化、食品ロス、海洋汚染などの環境問題について調べ、まとめたものを全校に広め、「地球を守ろう」と呼びかけた。

② とやま環境チャレンジ 10 について

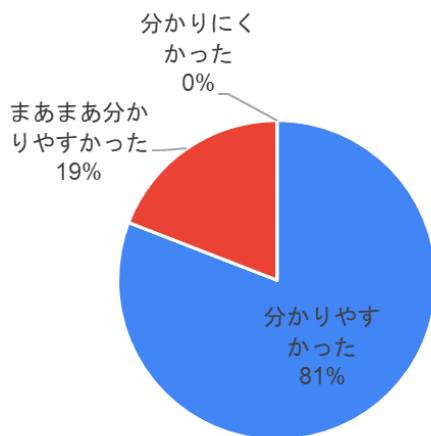
ア. とやま環境チャレンジ 10 はどの時間を活用して実施されましたか。



その他の主な内容

- ・ 社会科・総合的な学習の時間（内容ごとに時間を分けて活用した）

イ. 授業で活用するために配布した、副読本「地球温暖化を止めるため 家族みんなでチャレンジ！」の内容についてご意見をお聞かせ下さい。

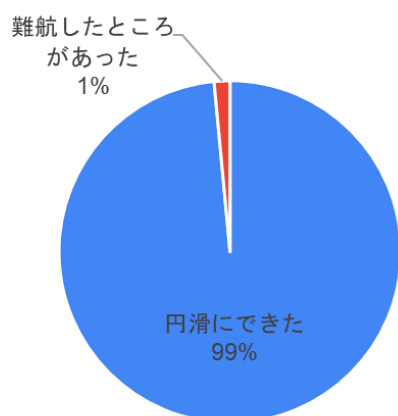


ウ. 副読本「地球温暖化を止めるため 家族みんなでチャレンジ！」について、ご意見があればお聞かせください。

- ・ 各家庭で役割分担をし、取り組んでいただき、節電や節約につながったという意見もあり、継続できたらと思っています。
- ・ 家族団らんで暖かい時間を過ごすことができたという意見もあった。
- ・ 地球温暖化によって具体的に何が起こるのかなどが分かりやすく説明されていました。
- ・ 「夏の暑い日」等、具体的なデータが分かるとよい。30年前は10日だったが、現在は20日ある、など)
- ・ 具体的な23の項目が用意されているので、全員が自分にできそうなことを見つけて取り組むことができました。サッカーボールやお金で効果が表されているので、分かりやすかったです。
- ・ QRコードから、環境問題実態の動画などを見ることができるとさらにいいと思いました。
- ・ 夏休みを利用して、家庭でいっしょにできるようなしくみがよかったです。
- ・ 地球温暖化について子供でも理解できるように簡単な言葉を使ったり、写真や図を大きくのせていたりして良かった。地球温暖化を防ぐ取り組み例も多く、参考しやすかった。
- ・ 写真がたくさんあれば嬉しい。

エ. 担当推進員による授業を行った学校にお聞きします。(対象 67 校)

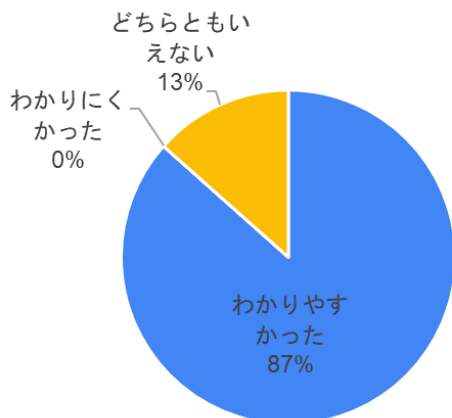
i. 推進員との事前の打ちは円滑にできましたか。



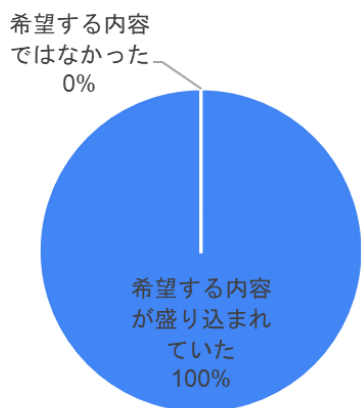
ii. i について、具体的にお聞かせください。

- ・事前に学習内容を教えていただいたり、資料を見せてもらったりしたので、その内容に沿って、事前に学習ができた。
- ・パワーポイントを用意してくださったことで、事前に内容を理解することができた。子供たちに、事前指導ができた。
- ・子供たちに気付かせたいことについて伝え、学習のねらいの達成に努めた。
- ・推進員さんが昨年もされたことがある方だったり、事前にいただいた資料を基に話し合いができたので、見通しをもって話し合いができた。また、事前打ち合わせの後の確認したいことができた場合は、メールで連絡し合えたので、円滑に行えた。
- ・こちらのニーズをくみ取って、柔軟にいろいろな教材や授業を提示してくださった。
- ・授業のために準備する機材等、しっかり伝えてくださったのでやりやすかった。
- ・メールや電話で連絡ができたが、後期の授業が延期になり、延期後の時間設定が学校行事と重なることが多かったのでなかなか設定できなかった。
- ・授業の詳細までしっかりと打ち合わせができず、当日に準備したものもあった。
- ・2回目の活動後の授業内容について推進員と事前に打ち合わせをすることができ、児童の実態に合わせて資料を準備していただくことができた。
- ・これまでの総合的な学習の時間で子どもたちが調べたことや子どもたちの実態をもとにして、話をさせていただく内容について確認したり、事前の準備物等について確認することができた。
- ・推進員の方が必要なことをレジュメにまとめてきてくださったので、スムーズに打ち合わせを行うことができた。
- ・子供たちの実態に合わせて、見せるスライドや授業の流れについて打ち合わせをすることができた。
- ・学期の途中で担任が変わったのですが、わかりやすく説明していただいたり、丁寧に対応していただいたりした。

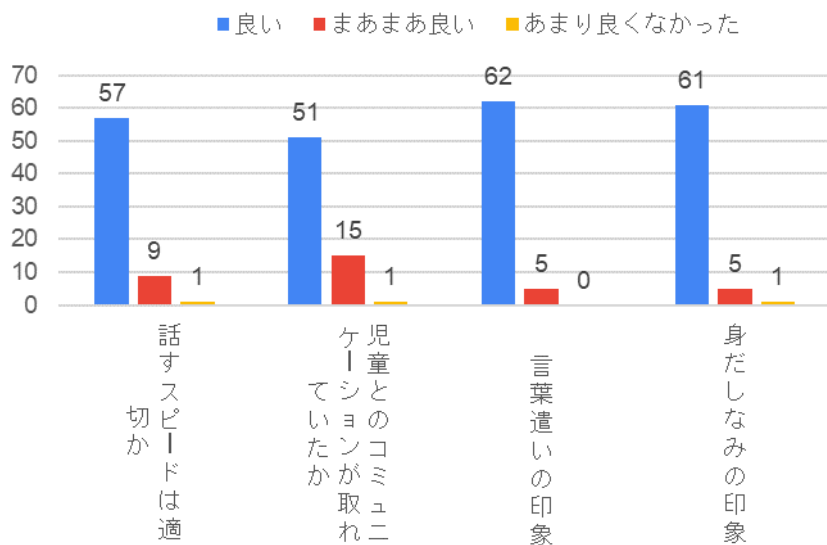
iii. 授業はわかりやすかったですか。



iv. 授業の内容はいかがでしたか。



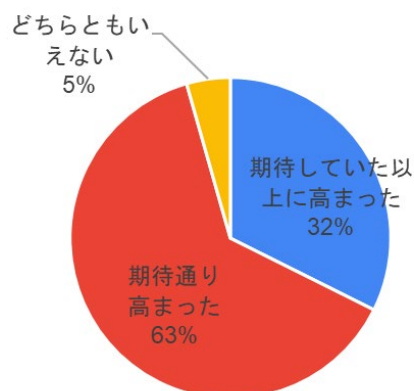
v. 推進員の児童への対応や態度はどうでしたか？



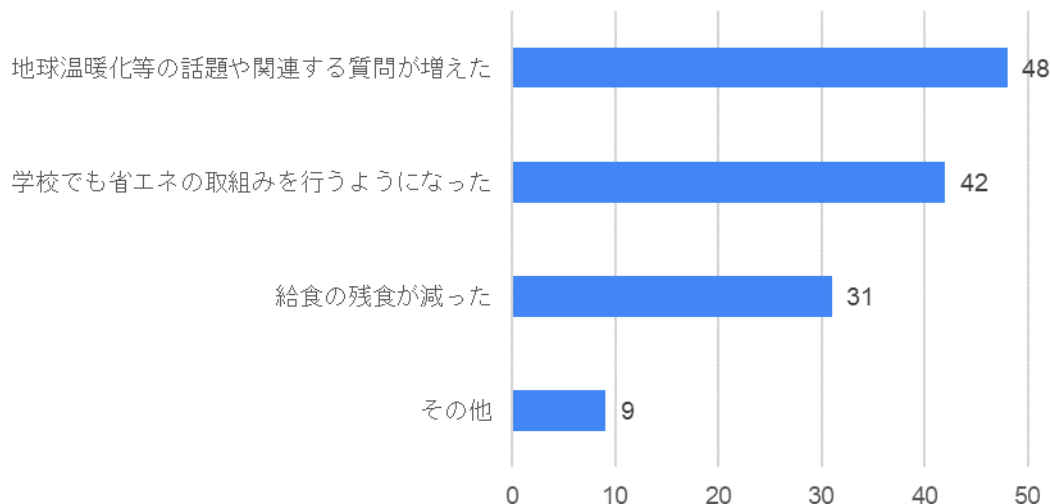
vi. vについて、その他ご意見があればお聞かせください。

- ・推進員の方がご高齢なので、歩行や子供たちの発言の聞き取り等での困難さが気になりました。
- ・パワーポイントを使って、大変わかりやすく教えていただいたので、教員も勉強になりました。
- ・子供の実態に合わせて、キャラクターを使ったりして工夫してくださった。
- ・子供達の取組みを、具体的な数値で評価していただけて、モチベーションアップにつながった。子供の質問にも、写真を示したりしながら分かりやすく答えていただいた。
- ・子供達と2Wayで授業を進めてくださった。
- ・ゆっくりお話されていたので、きっと内容が全部できずに終わってしまったのではないかと思います。
- ・子供に分かりやすい言葉であれば、より良かったです。専門的な言葉が多かったので、難しく感じました。
- ・2回目の教室では、より行った具体例をもとに、全体でどうしていけばよいかについて話し合う時間があると、より深まったのではないかと感じました。
- ・一人一人に温かく声をかけてくださっていました。スライドの途中で子供たちから意見・質問があったときにも、一つ一つ丁寧に対応していただき、ありがたかったです。
- ・子供たちの考えを引き出す内容を考えてくださり、とても興味深い授業でした。
- ・学校で進めている総合的な学習の時間の学習内容に関連して行っていただけたので助かりました。
- ・4年生の子供たちが地球温暖化や温室効果ガスについて理解できるように、熱心に準備を進めてくださった。
- ・大変分かりやすく説明してくださり、子供たちも集中して話を聞いていました。教室の環境から整えて雰囲気をつくってくださったことで、子供たちはわくわくした気持ちで授業に参加していました。
- ・クイズはあったが、活動が少なく、講義のような感じだったので、何か活動や意見を言う時間があるとより集中できると感じた。
- ・子供たちの学校の先輩ということで、親しみをもって接することができたので、とてもよかったです。

オ. 授業やチャレンジ10の取組みを通じて、児童の地球温暖化等環境問題への関心は高まったと思いますか。



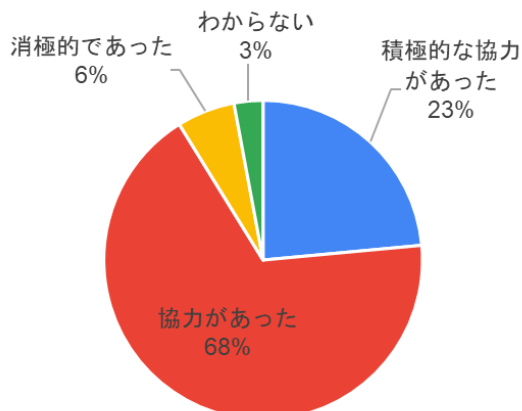
カ. 具体的な変化の内容を教えてください（複数選択可）。



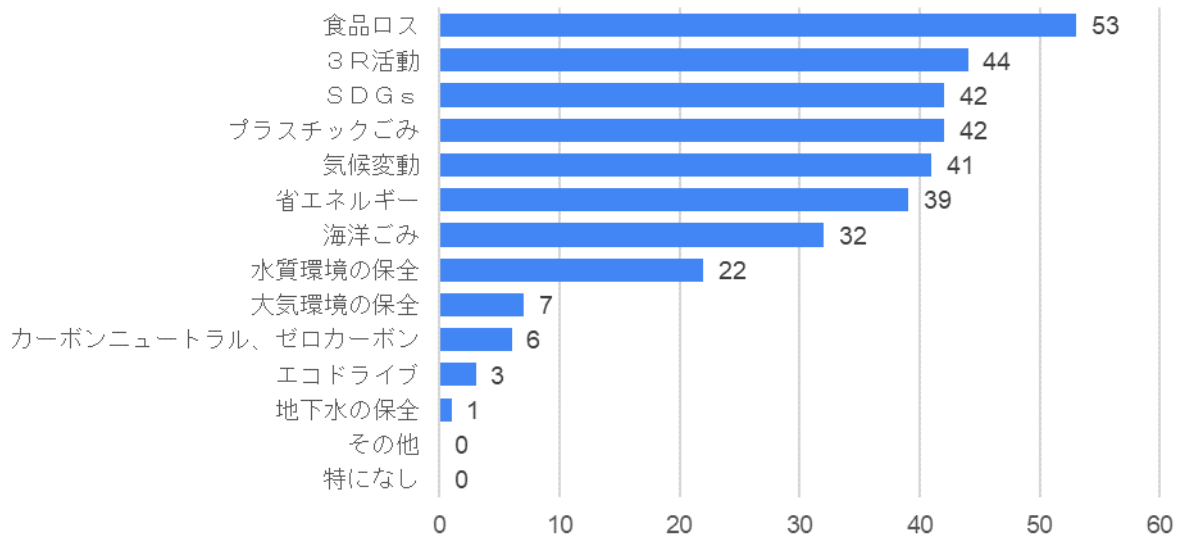
その他の主な内容

- ・ 夏休みの取組みを継続したいとの思いをもった。
- ・ 子供たちの意識が変わったように思う。
- ・ 児童から環境を意識する声が出てきた「今は明るいから電気を消してもいいんじゃない」「この入れ物、リサイクルマークがついているよ」など。
- ・ 本校ではサケの遡上調査、発眼卵の飼育を行っているが、サケの遡上数が極端に減ったことが、省エネの意味を考える良い機会になった。
- ・ ごみが増えないように、無駄遣いしないようにすることを意識するようになった。
- ・ 総合において、環境問題の各事象を結び付けて考えたり、対策について、自分なりに取り組もうとしたりするようになった。
- ・ 温暖化防止に対する家族の会話が増えた。
- ・ 身の回りで普段使っているものの、リサイクルマークに注目するようになった。
- ・ 野菜くずから段ボールコンポストで肥料を作った（資源の再利用）

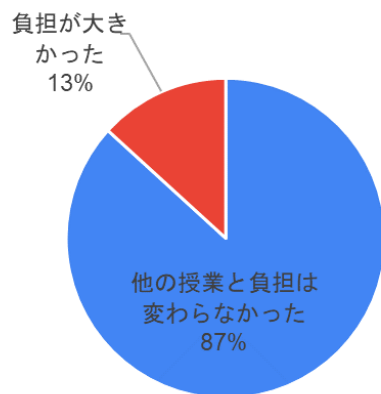
キ. 児童のご家族の反応はいかがでしたか。



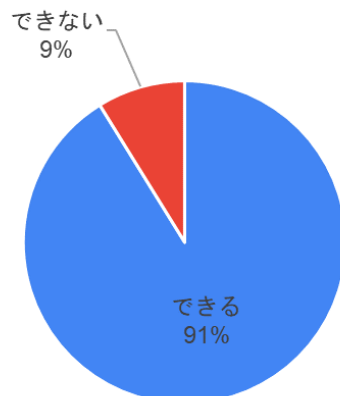
ク. チャレンジ10の授業で実施した内容も含めて、関心が高い環境分野にチェックを入れてください（複数選択可）。



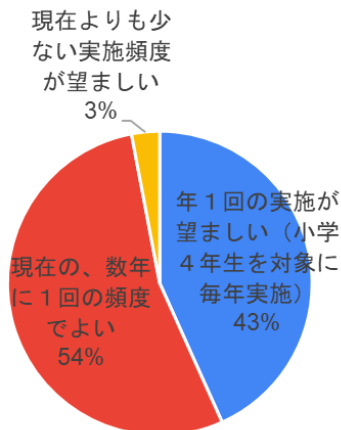
ケ. とやま環境チャレンジ10の準備や実施について、学校（担当教諭）の負担はいかがでしたか。



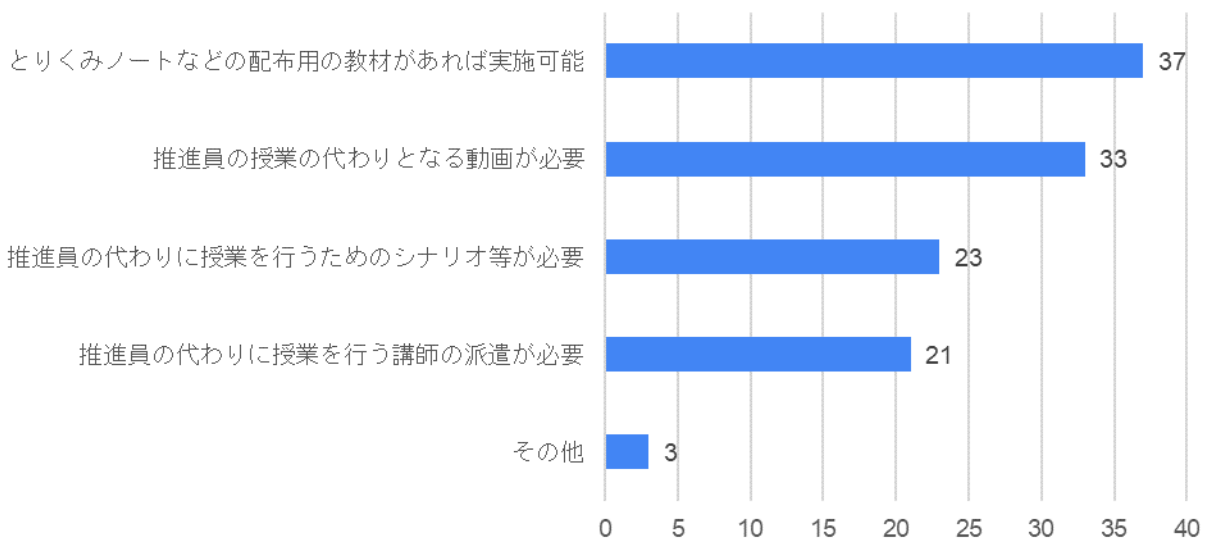
コ. とりくみノートなどの紙媒体をタブレット端末を利用した電子媒体に変更した場合、学校（担当教諭）で児童の入力の補助等を行うことはできますか。



サ. とやま環境チャレンジ 10 は、推進員を派遣できる数に上限があるため、(射水市などの一部を除き) 多くの学校で数年に 1 回の実施となっていますが、どのくらいの実施頻度が理想ですか。



シ. 現状では数年に 1 回の実施となっているチャレンジ 10 について、全ての小学 4 年生を対象に毎年実施しようとした場合に、どのような支援等が必要になると考えられますか (複数選択可)。

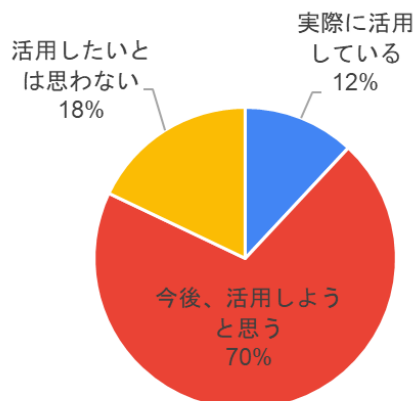


その他の主な内容

- ・ 推進員の派遣ではなく、年間を通したカリキュラムや指導計画を策定する。そして、各校での様々な取組みを共有し、まとめた冊子等を作るとよいのではないかと思います。
- ・ 各学校の学習内容の精選が必要となってくる。
- ・ 教材等の他に、家庭への協力呼びかけや電子媒体の活用が必要。

③ 地球温暖化防止活動推進員について

ア. 貴校において、環境学習（とやま環境チャレンジ 10 以外）を行う際に、地球温暖化防止活動推進員を活用していますか。

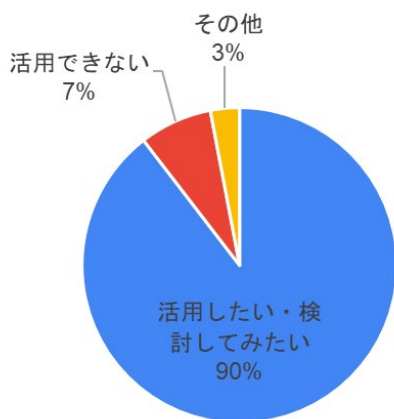


イ. どのように地球温暖化防止活動推進員を活用されましたか。

- ・ 出前授業を行ってもらった。
- ・ 3 R 推進スクール

④ その他

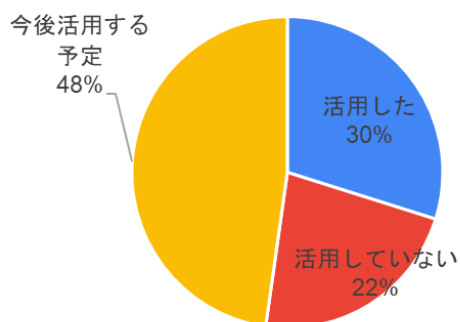
ア. 県のとやま環境チャレンジ 10 以外に、民間による出前講座（食品ロス、衣類リサイクル、建物・窓断熱、次世代自動車や地元企業の脱炭素対策など）の活用も考えられますが、県又はとやま環境財団がメニュー化し、仲介した場合は、総合学習などに活用してみたいですか。



その他の主な内容

- ・ 地域の方でしてくださる方がおられます。
- ・ 出前講座が増えると、校内の教科指導がままならなくなる可能性も考えられるので、はっきり申し上げることは難しいです。

イ. 冊子「うんこドリルー地球温暖化ー【富山県編】」をご活用されましたか。



ウ. 県やとやま環境財団に対し、要望がありましたら、ご自由に記入してください。

- ・頂いた資料（子供たちに配布したもの）は、とても分かりやすかったです。実際に取り組んでみて、すぐできることが多かったとの気付きもあったので、活動の意味は大きいと感じました。これをきっかけに家族の会話も増えたという感想もあったので、意識できる場を提供して頂き、ありがとうございました。
- ・日程変更等で連絡した際には、丁寧に対応してくださり助かりました。
- ・出前講座（推進員が派遣されて授業を実施）があると、取組みへの参加意欲が高まるように思うので、できれば今後もお願いしたい。
- ・学校の要望に対して、受け入れてくださり助かりました。
- ・「地球温暖化」と聞くと難しそうに感じてしまいますが、環境チャレンジ10では、家庭での実践や発電グッズの体験、クイズ等を通して、楽しく学ぶことができました。
- ・総合的な学習の時間に、子供たちが環境問題を考える上でとても貴重な時間となりました。
- ・とても意欲的に学習に参加できました。紙媒体からPC入力に変化していくと、さらに家庭での参加率や意欲があがるかなと思いました。
- ・子どもたちにとって環境問題について考えたり、取り組んだりするととてもよいきっかけとなりました。
- ・日数が2週間ぐらいがよいかと思います。
- ・取組み時期と結果報告の時期の間が空きすぎて子供の意識の持続が難しい。